

事業報告

2009年度生涯学習教育研究センター事業の実施報告

1 公開講座

2009年度の公開講座は、5月23日（土）の「世界の演劇文化の楽しみ方」を皮切りに、主に9月、10月の土・日を開催日として実施され、11月30日（月）の「ノルディックウォーキング&エクササイズと里山自然体験」をもって全14講座が終了した。

各講座の実施状況は、以下の表のとおりである。

■生涯学習教育研究センター

講座名	テーマ	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
体験・大学の化学実験	染色の化学～インジゴによる染色実験～	8/1	理学部准教授・近藤 満 理学部助教・仁科直子	中学生以上	2,000	静岡大学 静岡キャンパス	36	14
	温度で色が変化する物質の合成～クロミズム挙動を示す金属錯体の合成実験～	8/2						
高齢化社会における地域とまちづくり	高齢者は「弱者」なのか？～「ポジティブな高齢者」像の構築を目指して～	9/12	教育学部准教授・中條暁仁	一般市民	1,500	沼津市民文化センター	50	35
	祭りを継続させる・イベントを立ち上げる～地域の存続戦略を探る～	9/19	教育学部准教授・矢野敬一					
	家族・地域社会のゆくえと高齢者介護	9/26	人文学部教授・南山浩二					
対人援助サービスの質的向上を目指して～ヒューマンケアに支えられた共生社会のために～	多文化共生社会のヒューマン・ケア	6/23	人文学部教授・松田 純	看護師、介護福祉士、医師、理学療法士、医療や福祉に従事する方、障害者、ひきこもり児童、滞日外国人のサポートに携わっているNPO関係者、教員、行政関係者、家族の方など	各回 500 7/28のみ 400	静岡市 産学交流 センター B-nest	30	22
	ケアをめぐる紛争・法・倫理	6/30	法科大学院教授・藤本 亮					
	ケアリングの倫理と論理	7/7	人文学部准教授・堂岡俊彦					
	①「病い」の体験を語り・わかちあうことの意味 ②〈コミュニティ〉と〈自己決定〉～ひきこもり支援を事例に～	7/14	①人文学部教授・南山浩二 ②人文学部准教授・萩野達史					
	①静岡県における多文化共生と日系ブラジル人コミュニティ ②支え合うことの難しさ～社会心理学の観点から～	7/21	①人文学部准教授・竹ノ下 弘久 ②人文学部准教授・橋本 剛					
	児童養護の現場から	7/28	人文学部教授・平岡義和					

■人文学部

講座名	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
世界の演劇文化の楽しみ方	5/23	人文学部教授・上利博規 人文学部教授・鈴木実佳 人文学部教授・岡崎真紀子 人文学部准教授・花方寿行	一般市民	600	静岡芸術劇場 (グランシップ内)	30	15
聞いてよかった!日本語ゼミナール	9/12	人文学部教授・勝山幸人 人文学部教授・服部義弘 人文学部教授・城岡啓二 人文学部教授・熊谷滋子 人文学部准教授・大村光弘	一般市民、高校生、留学生、外国人	2,000	静岡市産学交流センター B-nest	40	17
アジアの人々と暮らしは今	9/26・10/3・10	人文学部教授・大野 旭 人文学部教授・浅利一郎 人文学部教授・上利博規	一般市民	1,000	静岡市産学交流センター B-nest	27	13

■教育学部

講座名	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
運動不足解消のためのエンジョイ大人卓球教室	10/3・4	教育学部助教授・吉田和人 NPO法人卓球交流会・山田耕司	一般市民	3,000	静岡大学静岡キャンパス	50	42
ノルディックウォーキング&エクササイズと里山自然体験	11/9・16・30	教育学部准教授・杉山康司 教育学部准教授・祝原 豊 名誉教授・中野偉夫 教育学部技術専門職員・重岡廣男	メディカルチェック等で歩くことを制限されていない健康な方	5,500	静岡大学静岡キャンパス	20	15

■教育実践総合センター

講座名	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
小学校英語活動スキルアップ講座	8/21	教育学部准教授・矢野 淳	静岡県内の小・中学校教員	500	静岡大学静岡キャンパス	25	19
問題を通して関係を深める	8/26	教育学部准教授・加藤弘通 教育学部附属教育実践総合センター教授・杉山 孝	学校教員、学校教育関係者	1,000	静岡市産学交流センター B-nest	30	10

■農学部

講座名	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
バイオテクノロジー体験～生長点培養をしてみよう～	10/31	農学部准教授・河原林和一郎 農学部助教・浅井辰夫 農学部助教・八幡昌紀 農学部技術専門職員・増田幸直 農学部技術専門職員・西川浩二 農学部技術専門職員・成瀬博規	中学生以上	1,000	静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター藤枝フィールド	20	8

■情報学部

講座名	テーマ	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
情報学アラカルト講座2009	人間・社会を活性化するヒューマンインタフェースの進化	11/14	情報学部教授・竹林洋一	一般市民及び本学の学生とその保護者	各500	静岡大学浜松キャンパス	210	57
	人とことばとコミュニケーション		情報学部准教授・竹内勇剛					
	技能伝承における「師弟相伝」関係の重要性～現代大学教育に欠けているもの～		情報学部教授・雨宮正彦					
	情報が「美術」を創る		情報学部教授・高松良幸					

■キャンパスミュージアム

講座名	テーマ	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
静大キャンパス探訪 ～キャンパス内の自然 と歴史に触れよう～	周辺の遺跡を訪ねる	10/17	人文学部教授・滝沢 誠	一般市民	1,000	静岡キャンパス	20	20
	静岡キャンパスの昆虫を探る	10/24	教育学部技術職員・新妻廣美					
	植物から見る静岡キャンパスの自然	10/31	教育学部教授・小南陽亮					

■国際交流センター

講座名	テーマ	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
日本語教育とその周辺	どのように言葉を学ぶのか?	10/10	国際交流センター教授・原沢伊都夫	日本語教育関係者または日本語教育に興味のある社会人	4,000	静岡市産学交流センター B-nest	30	35
	日本語教育と国語教育の違いは?	10/17	国際交流センター准教授・袴田麻里					
	音声を教えるコツは何だろうか?	10/24	国際交流センター非常勤講師・松葉優子					
	敬語とコミュニケーション	10/31	国際交流センター教授・熊井浩子					
	日本語を教えるにあたって	11/7	国際交流センター准教授・案野香子					

2 静岡大学創立60周年記念事業

静岡大学は、2009年度に創立60周年を迎え、その記念事業として、静大フェスタ（5月）、大学サイエンスフェスタ（11月）などのイベントや、キャンパスミュージアム特別展「静岡大学のあゆみと教育・研究の現在」、企画展「富士山展」などの記念展示、記念誌の発行など、数々の催しを行った。生涯学習教育研究センターでは、以下の記念事業を実施した。

■静岡大学・読売新聞連続市民講座「人間と環境の現在と未来——21世紀の日本を拓く」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	5/9	地球温暖化防止と私たちの未来～低炭素社会をつくるために～	人文学部准教授・水谷洋一	106
2	6/6	地球環境のマイクロ世界で何が起きているのか～地球温暖化と関係あるの?～	創造科学技術大学院・理学部教授・鈴木 歎	95
3	7/4	環境思想の系譜～エコロジーはどういう考え方か～	大学教育センター教授・芳賀直哉	104
4	8/1	環境「リスク」としての地球温暖化～環境問題の社会的見方～	人文学部教授・平岡義和	97
5	9/5	植物の力が私たちに助ける	農学部准教授・本橋令子	87
6	10/3	富士山をとり巻く植物群落を知る～- 1000 mから3776 mへ～	理学部教授・増沢武弘	88
7	11/7	農業は環境を破壊するか～アフリカ熱帯雨林の焼畑・混作農業～	人文学部准教授・小松かおり	70
8	12/5	社会と自然の関わりを知る～私たちの未来へ向けての環境教育～	教育学部教授・大塚謙一	68
9	1/9	生、死、自然～人間と環境の関係をたずねて～	創造科学技術大学院・農学部准教授・竹之内裕文	78
10	2/6	①21世紀の羅針盤を求めて ②市民とともに進める環境保全～棚田再生の記録～	①工学部准教授・松田 智 ②名誉教授・中井弘和	81

- ・会場：静岡市産学交流センター（B-nest）6階プレゼンテーションルーム
- ・参加費：無料
- ・主催：静岡大学生涯学習教育研究センター、読売新聞東京本社静岡支局
- ・後援：静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、静岡第一テレビ

■静岡大学・中日新聞連携講座「くらしをひらく最先端」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	10/17	水をめぐる最先端 ①水を生き返らせる～アメニティ佐鳴湖プロジェクトの活動とその成果～ ②水を活かす～海のしくみと駿河湾深層水～	①工学部准教授・戸田三津夫 ②理学部助教・宗林留美	26
2	11/15	匠の技を現代に～はままつデジタルマイスター養成プログラムが目指すもの～	工学部教授・中村 保	41
3	12/12	未来の科学者を育てる～ものづくり理科地域支援ネットワーク・浜松RAIN房の挑戦～	工学部教授・藤間信久	38
4	1/9	子育てのコツ、教えます～子育て支援コンテンツの構築を目指して～	創造科学技術大学院・情報学部教授・竹林洋一	50
5	2/13	未来のテレビはこうなる～画像工学の現在と未来～ ①浜松発のテクノロジー～テレビの過去・現在・未来～ ②次世代の産業・医療を支える～浜松オプトロニクスクラスター～	①電子工学研究所所長・三村秀典 ②電子工学研究所教授・猪川 洋	45

- ・会場：静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館会議室
- ・参加費：無料
- ・主催：静岡大学、中日新聞東海本社
- ・後援：静岡県、静岡県教育委員会

■静岡大学・コープしずおか創設60周年記念連携公開講座「食を考える」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	7/4	日本農業の再生を考える	名誉教授・中井弘和	59
2	9/5	食の安全と安心を考える	東京大学名誉教授・独立行政法人製品評価技術基盤機構理事長・安井 至	39
3	11/7	キノコの化学・科学～キノコの食品としての機能性、安全性、毒性を物質レベルで考える～	創造科学技術大学院教授・河岸洋和	31
4	12/12	食品栄養学の世界	農学部教授・森田達也	28
5	1/9	安全・安心な食品とは何か	農学部教授・衛藤英男	22
6	3/13	生活習慣病予防のための食生活の工夫～長寿社会を生き抜くために～	教育学部講師・川手 隆	29
※	11/14	清沢塾の見学・作業体験		16

- ・会場：静岡市産学交流センター（B-nest）6階プレゼンテーションルーム
[第4回] 沼津市民文化センター 第3練習室
[第5回] アクトシティ浜松コンgresセンター 22-23 会議室
[※特別企画] 清沢塾
- ・参加費：200円（資料代）
- ・主催：静岡大学、コープしずおか

■静岡大学開学60周年記念公開シンポジウム「静岡大学の足跡と未来への足音」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	5/30	わたしが語るわたしの静岡大学	コーディネーター：平野雅彦（静岡大学人文学部客員教授） パネリスト：満井義政（静岡大学理事）、杉田 豊（静岡大学同窓会代表）、藤田幸宏（同窓会代表）、新井和康（学生代表・静岡大学大学院教育学研究科音楽科教育専攻修士1年）、川原瑠莉（学生代表・静岡大学人文学部言語文化学科2年）	230
2	1/30	それはいかに実現されたのか？	コーディネーター：中井弘和（静岡大学名誉教授） パネリスト：佐藤博明（元静岡大学学長）、鈴木 款（静岡大学創造科学技術大学院・理学部教授）、松田 智（静岡大学工学部准教授）、水谷洋一（静岡大学人文学部准教授）	48

- ・日時：[第1回] 5月30日（土）10:30～12:20 [第2回] 1月30日（土）13:30～16:30
- ・会場：[第1回] ツインメッセ静岡 北館 [第2回] 静岡県男女共同参画センターあざれあ大会議室
- ・参加費：無料

3 主催事業

①公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習⑩」

市民・行政・企業・NPO・他の自治体などのネットワークを駆使した地域づくり、情報学・ITを駆使した都市分析、情報ネットワークを活用した教育実践などを取り上げながら、生涯学習のための学習ネットワーク構築の可能性を検討した。

・日時：2010年1月19日（火）14:20～15:55

・会場：静岡大学共通教育A棟201教室

・プログラム：

- ①「静岡の公立中学校と仙台の私立大学はなぜ共同プロジェクトを実践しているのか～新たな学習ネットワークと生涯学習の可能性～」報告者：田中章義（歌人、元国連WAFUNIF親善大使）
- ②「デジタルコンテンツやe-learningは教育にどのような変革をもたらすか、デジタル化を進めるメディアがどのように貢献できうるか、問題点は無いのか」報告者：熊野善介（静岡大学教育学部教授）
- ③「メディアを介したコミュニケーションにおける対人社会的側面とインタラクションデザイン」報告者：竹内勇剛（静岡大学情報学部准教授）

・コーディネーター：菅野文彦（静岡大学教育学部教授）

・参加費：無料

・参加者数：50人

②博物館フォーラム「博物館からひろがるネットワーク」

博物館は単独で存在しているのではなく、さまざまな組織や機関とつながっている。したがって、博物館同士のつながりはもちろん、他の組織や機関との連携によって、新たな効果を生み出すことが可能になる。そこで今回は、他の博物館や機関と積極的につながりながら展開している活動事例を通して、博物館活動の新しい可能性を探った。

・日時：2010年3月6日（土）14:00～16:30

・会場：クリエート浜松 53会議室

・プログラム：

- ①「三・遠・信博物館の広域ネットワーク」報告：金原宏行氏（常葉学園大学教授・豊橋市美術博物館長）
- ②「市町村合併と広域博物館群の構築」報告：太田好治氏（浜松市博物館学芸員）
- ③「まちと博物館を結ぶ」報告：小岩信治氏（静岡文化芸術大学文化政策学部准教授）

・コーディネーター：高松良幸（静岡大学情報学部教授）

・参加費：無料

・参加者数：21人

・後援：浜松創造都市協議会

③公開セミナー「学ぶって楽しい！～大学で学ぼう～」

知的障害のある人が、学校卒業後も生涯学習の機会を持ち、より豊かな人生を送ることができるようになることを目的に実施した。前期と後期の2回、それぞれ別の内容で実施した。

[前期]

・日時：2009年6月21日（日）9:00～12:10

・プログラム：

- ①「人はなぜ悪いことをするのか？」講師：石井 潔（静岡大学教育学部教授・学部長）
- ②「世界へはばたけ！ 富士山静岡空港」講師：岩瀬智久（静岡県空港部利用推進室）

- ・参加者数：107人（うち学生23人、教職員その他33人）

[後期]

- ・日時：2009年10月18日（日）9:00～12:10
- ・プログラム：
 - ①「テレビCMっておもしろい」講師：佐々木洋（電通東日本静岡支社クリエイティブ部主務）
 - ②「60分ヒップホップマスター」講師：中村友香（静岡県立浜松特別支援学校講師）
- ・参加者数：123人（うち学生36人、教職員その他34人）

[共通事項]

- ・会場：静岡大学学生会館ホール
- ・参加者：静岡県の知的障害養護学校等卒業の社会人（18歳以上）、県立特別支援学校等の教員、青年学級等の関係者・保護者、静岡大学教育学部特別支援教育（障害児教育）専攻の学生、静岡県知的障害者就労研究会会員など
- ・企画：静岡県知的障害者就労研究会

④しずだい飛ぶ教室 in 清水町「思春期における児童の心の理解とその寄り添い方」

「しずだい飛ぶ教室」は、地域への大学開放事業の一つとして、静岡大学関係の教職員が、静岡県内の遠隔市町へ出向き、出前講演等を行うもので、大学の特徴ある教育研究を地域に広げ、大学への関心を高め、地域の生涯学習に資することを目的としている。今回は、清水町教育委員会の仲介により、PTA（清水町立西小学校・学校保健委員会）から講演会を実施したいという申し出を受け、「思春期における児童の心の理解とその寄り添い方」をテーマに「しずだい飛ぶ教室 in 清水町」として実施した。

- ・日時：2010年2月2日（火）15:15～16:40
- ・会場：清水町立西小学校・オレンジルーム
- ・講師：小林朋子（静岡大学教育学部准教授）
- ・参加費：無料
- ・対象：教職員、保護者、地域住民
- ・参加者数：60人
- ・共催：清水町立西小学校・学校保健委員会

4 共催事業

①地域連携協働センター公開シンポジウム「地域と大学をつなぐ～メディアイーターとしての学生～」

静岡大学では、大学と地域との連携・協働をより円滑に進め活性化するため、2008年に地域連携協働センターを設立し、様々な活動を行ってきた。その中で確認されたことは、学生の地域連携・貢献活動への期待がきわめて高いことだった。

そこで、地域と大学が連携・協働するためのメディアイーターとしての学生の役割に注目し、学内外の取り組み事例を紹介しながら、地域連携のあり方について考えた。

- ・日時：2010年1月23日（土）14:00～17:00
- ・会場：静岡パルシェ会議室
- ・プログラム：
 - (1) 基調講演「結[YUI]～現代GP 芸術工房ネットワークの活動」講師：片桐隆嗣（東北芸術工科大学教授）
 - (2) 事例報告
 - ①「現代GP 一社一村しずおか運動における学生の役割」報告：竹之内裕文（静岡大学創造科学技術大学院准教授）、佐々木康之（静岡大学大学院農学研究科修士2年）

- ②「音楽活動を通じた地域連携の取り組み」報告：小西潤子（静岡大学教育学部准教授）、新井和康（静岡大学大学院教育学研究科修士1年）
 - ③「リベラルアーツカフェの挑戦」報告：藤井基貴（静岡大学教育学部准教授）、宮田 舞（静岡大学教育学部4年）
 - ④「空港開港に伴う静岡市のホテル旅館の国際化対応と留学生の貢献」報告：鄭 眞永（静岡大学大学院人文社会科学研究科修士2年）、鈴木 瑞（静岡大学大学院人文社会科学研究科修士2年）
 - ⑤「地域と大学を結ぶ、天晴れ門前塾の取り組み」報告：林 のぶ（静岡大学教育学部同窓会）
 - ⑥「創立60周年記念公開シンポジウムの企画・実施を通して」報告：伊藤允彦（静岡大学大学院農学研究科修士1年）
- (3) パネルディスカッション
- ・コーディネーター：満井義政（静岡大学地域連携協働センター長）
 - ・参加者数：48人
 - ・参加費：無料
 - ・主催：静岡大学地域連携協働センター、静岡大学生涯学習教育研究センター

②生涯学習指導者研修事業「地域を担う公民館の役割と展望」

静岡県内の公民館活動などを通して、生涯学習事業を展開している生涯学習指導者への教育研究情報の提供と大学とのネットワークづくりを進めるとともに、指導者の資質の向上をはかることを目的に、静岡県公民館連絡協議会との連携事業として実施した。

近年公民館を取り巻く環境が変化し、また、家庭教育支援、人材育成、多文化共生への対応、地域づくりへの貢献など、地域社会のなかで期待される役割もその比重が変わりつつある。地域課題を探り、住民との連携をはかりながら活動を行う各地の公民館の事例に学びながら、地域を担う公民館の役割と展望について検討した。

- ・日時：2010年1月27日（水）10:30～16:00
- ・会場：清水興津生涯学習交流館
- ・プログラム：
 - ①基調講演「地域を担う公民館の役割と展望」講師：原 義彦（秋田大学教育文化学部准教授）
 - ②事例報告
 - ・「地域住民や関係団体に支えられたふれあいのある公民館づくり」報告者：岡本政義（浜松市伊佐見公民館長）
 - ・「多文化共生をめざす公民館の国際交流事業」報告者：石垣英夫（袋井市浅羽南公民館長）
 - ・「ブラジル人向け日本語教室「いわしん パモス 日本語!」」報告者：絹村和弘（磐田市南御厨公民館長）
 - ・「こどもの講座とボランティア」報告者：青島敏文（焼津市焼津公民館長）
 - ・「公民館の役割と地域事業」報告者：港 京子（袋井市浅羽東公民館指導員）
 - ・「「やきつべの里フォーラム」での社会教育実習を通して学んだこと」報告者：静岡大学教育学部生涯学習専攻学生
 - ③パネルディスカッション
 - ・パネリスト：事例報告者
 - ・コメンテーター：猿田真嗣（常葉学園大学教育学部教授）
 - ・コーディネーター：菅野文彦（静岡大学生涯学習教育研究センター副センター長、教育学部教授）
- ・参加者数：74人
- ・参加費：無料

- ・主催：静岡県公民館連絡協議会、静岡大学生涯学習教育研究センター

③文化講演会「古木や一里塚が語る東海道の歴史」

有度国際セミナー・NPO法人エイジングブライツ倶楽部との共催により実施した。

- ・日時：2009年11月27日（金）、12月7日（月）13:30～15:00
- ・会場：清水区有度生涯学習交流館3階集会室
- ・内容：
 - ①11/27「久能寺と有度の古寺」講師：湯之上隆（静岡大学人文学部教授）
 - ②12/7「近世東海道と有度地域」講師：本多隆成（静岡大学名誉教授・放送大学静岡学習センター長）
- ・参加費：2,000円（全2回分）
- ・主催：有度国際セミナー、NPO法人エイジングブライツ倶楽部、静岡大学生涯学習教育研究センター
- ・後援：静岡県教育委員会、静岡市、有度連合自治会

5 企画協力事業

①富士市民大学前期ミニカレッジ「富士周辺の歴史と文化」

- ・日時：2009年5月20日～7月15日までの毎週水曜日 [全9回] 19:00～20:30
- ・会場：富士市文化会館（ロゼシアター）
- ・プログラム：
 - ①5/20「南北朝・室町期の今川氏」講師：小和田哲男（静岡大学名誉教授）
 - ②5/27「戦国大名今川氏の盛衰」講師：小和田哲男
 - ③6/3「鎌倉幕府と駿河の武士たち」講師：湯之上隆（静岡大学人文学部教授）
 - ④6/10「富士山をめぐる宗教文化史」講師：湯之上隆
 - ⑤6/17「武田氏の駿河支配と富士」講師：小川隆司（島田商業高校教諭）
 - ⑥6/24「家康の領国支配と小田原攻め」講師：本多隆成（放送大学静岡学習センター所長・静岡大学名誉教授）
 - ⑦7/1「近世の東海道と富士川舟運」講師：本多隆成
 - ⑧7/8「近世富士地域の新田開発」講師：厚地淳司（沼津市教育委員会）
 - ⑨7/15「富士をめざした人々」講師：松本稔章（静岡県教育委員会）
- ・参加費：3,000円
- ・主催：富士市教育委員会
- ・企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター

②吉田町特別講座「中国古代史と現代の文化」

- ・日時：2009年9月24日～10月29日までの毎週木曜日 [全6回] 19:30～21:00
- ・会場：吉田町中央公民館
- ・プログラム：
 - ①9/24「秦の始皇帝とその時代」講師：戸田裕司（静岡福祉大学社会福祉学部教授）
 - ②10/1「漢と匈奴：農耕世界と遊牧世界」講師：戸田裕司
 - ③10/8「三国志の世界」講師：戸田裕司
 - ④10/15「身近な中国（華僑・留学生）」講師：戸部 健（静岡大学人文学部准教授）
 - ⑤10/22「中国の観光地（都市の文化）」講師：戸部 健
 - ⑥10/29「これからの中国（党・国家）」講師：戸部 健
- ・参加費：3,000円

- ・主催：吉田町教育委員会
- ・企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター

③静岡市南部生涯学習センター・生涯学習教育研究センター連携事業「日本の歴史・伝統との対話」

- ・日時：2009年9月30日～11月25日までの隔週水曜日 [全5回] 19:00～21:00
- ・会場：静岡市南部生涯学習センター 第3集会室
- ・プログラム：
 - ①9/30「静岡の仏教美術」講師：大宮康男（静岡大学教育学部教授）
 - ②10/14「『源氏物語』の魅力」講師：松岡智之（静岡大学教育学部准教授）
 - ③10/28「職業作家の誕生：“売れる本”ということ」講師：小二田誠二（静岡大学人文学部教授）
 - ④11/11「大切に伝えたい柔道の心」講師：田中秀幸（静岡大学教育学部教授）
 - ⑤11/25「明治時代の教科書」講師：花井 信（静岡大学教育学部教授）
- ・参加費：無料
- ・主催：静岡市南部生涯学習センター
- ・企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター

④6大学リレー講座「市民大学講座～静岡を学ぶ～」

- ・日時：2009年8月1日～8月29日 [全6回] 13:30～15:00
- ・会場：アイセル21 3階31集会室
- ・プログラム：
 - ①8/1（土）「日本の抱える海洋問題」講師：山田吉彦（東海大学教授）
 - ②8/8（土）「娯楽から静岡市を考えてみよう」講師：天野景太（静岡英和学院大学講師）
 - ③8/11（火）「静岡三題噺：お茶・プラモデル・時計」講師：小二田誠二（静岡大学人文学部教授）
 - ④8/18（火）「駿府96ヶ町物語」講師：織田元泰（常葉学園大学教授）
 - ⑤8/22（土）「静岡県の特産物で健康長寿をめざそう」講師：木苗直秀（静岡県立大学学長）
 - ⑥8/29（土）「登呂遺跡と遺伝子解析」講師：堀江信之（静岡英和学院大学短大部教授）
- ・参加費：無料
- ・主催：静岡英和学院大学、静岡英和学院大学短期大学部、静岡県立大学、静岡大学、東海大学、常葉学園大学、静岡市
- ・企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター

4 市民開放授業

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放し、正規学生と一緒に受講できるようにしたもので、2005年度から実施している。

2009年度の受講者数は203名で、平均年齢は60.8歳となっている。また、開講科目数および受講科目数は以下の表のとおりである。

	共通	人文	教育	理	農	工	情報	計
開放科目数	96	106	21	103	85	4	12	427
受講科目数	50	61	3	26	23	2	4	169